

書類の作成・提出に当たって

はじめに

- 本事業の目的は地域活性化であることを踏まえ、本書類は単一の部局で作成するのではなく、関係部局と協力・調整の上作成することが望まれます。
- 様式は、認定及び認定内容の変更を希望する案件（ストーリー）ごとに作成してください。
- 平成 30 年度認定については「Ⅰ．平成 30 年度新規認定」を御覧ください。
- 平成 29 年度以前に認定した認定内容の変更については「Ⅱ．平成 30 年度認定内容変更」をご覧ください。

Ⅰ．平成 30 年度新規認定

1. 基本情報（様式 1－1）

（1）申請者

申請者となる市町村名を記載すること。

※シリアル型の場合の留意点

- ① シリアル型の場合、申請者となる全ての市町村名を記載すること（「ストーリーの構成文化財」を有しない市町村は申請者になれないことに注意すること。）。また、申請者間の連絡調整、本書類の取りまとめ及び文化庁との連絡調整を代表して行う市町村を一つ特定し、その市町村名の前に◎印を付すこと。
- ② 上記に関し、都道府県が域内の市町村（申請者）間等の連絡調整を行う場合は、当該都道府県が市町村に代わって申請者となることも可能である。この場合、都道府県名の前に◎印を付した後、該当する市町村名を（ ）書きしておくこと。なお、複数の都道府県にまたがるシリアル型のときは、連絡調整を代表して行う都道府県を一つ特定し、その都道府県名の前に◎印を付すこと。

（2）ストーリーのタイプ

- ①地域型かシリアル型かのいずれかを囲むこと。

ア．「地域型」…単一の市町村内でストーリーが完結し、構成文化財は当該市町村のみに所在する。

イ．「シリアル型（ネットワーク型）」…複数の市町村にまたがってストーリーが展開し、構成文化財はシリアル型を形成する各市町村に所在する。

- ②地域型の場合は、A～Eのうちのいずれかを囲むこと。（複数選択可）

※A～Eのいずれかにあてはまることが提出の条件となります。

- A 歴史文化基本構想を策定済の市町村
- B 歴史的風致維持向上計画を策定済の市町村
- C 世界文化遺産の構成資産を有している市町村
- D 世界文化遺産暫定一覧表記載案件の構成資産を有している市町村
- E 世界文化遺産暫定一覧表候補案件の構成資産を有している市町村

※上記C～Eの各々の場合において、当該構成資産が日本遺産のストーリーの構成文化財に含まれない場合は対象外とする。

※上記Eの構成資産は、「我が国の世界遺産暫定一覧表への文化資産の追加記載に係る調査・審議の結果について」（平成20年9月26日文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会）の公表の時点において文化庁が把握しているものを対象とする。

（３）ストーリーのタイトル

ストーリーの内容について、その特色を端的に示すものとする。タイトルの文字数については40字以下とすること。

（４）ストーリーの概要

下記「３．ストーリー」の概要を200字程度で記載すること。

（５）担当者連絡先

文化庁からの連絡の窓口となる担当者を記載すること。シリアル型の場合は、「（１）申請者」の◎印の自治体の担当者を記載すること。

2. 申請者の所在地及びストーリーの構成文化財の所在地が分かる地図（様式1-2）

申請者である市町村の所在地及びストーリーの構成文化財の所在地が分かるものとする。認定された際には、電子媒体として公開するので、地図は著作権に抵触しないものを使用すること。

3. ストーリー（様式2）

- （１）当該地域の際立った歴史的特徴・特色を示すものであるとともに、我が国の魅力を十分伝えるものとなっていること。
- （２）ストーリーの内容に係る留意点
 - ①歴史的経緯や、地域の風土に根ざし世代を超えて受け継がれている伝承、風習等を踏まえたものであること。
 - ②ストーリーの中核には、地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものを据えること。
 - ③単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。
 - ④その地域や文化財に関する専門的知識を持たない人も興味や関心を持てるものとする。
 - ⑤ストーリーの場面が想起されるような写真・図表を挿入した上で、見開き2ページ（A4用紙2枚）で作成すること。

4. 構成文化財一覧表及び構成文化財写真一覧（様式3-1及び3-2）

- （１）対象は、地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財とし、構成文化財の中に国指定・選定のものを必ず一つは含めること（なお、シリアル型の場合、シリアル型を形成するいずれかの市町村に含まれていればよい。）。
- （２）ストーリーを語る上で不可欠な文化財であるか否かの観点から、対象を十分に精査すること。
- （３）様式3-1の記入に係る留意点は、同様式の下段を参照すること。
- （４）様式3-2に各文化財の写真一覧を添付すること。その際、どの写真がどの文化財を示しているのか分かるように、様式3-1左端の番号を写真に付すこと。

5. 日本遺産を通じた地域活性化計画（様式4）

（1）将来像（ビジョン）

日本遺産という資源を活かした地域づくりを行うことにより実現したい、中長期的（20年～30年）な見地に立ったあるべき姿を記載するとともに、地域の長期的構想（総合計画等）への日本遺産の位置づけの考え方を記載すること。

なお、記載に当たっては、下記（2）「地域活性化のための取組の概要」及び（3）「自立的・継続的な取組」に記載する内容を踏まえたものとなるように留意すること。

（2）地域活性化のための取組の概要

上記（1）の「将来像」の実現に向けて、今後6年間で地域全体で取り組むべき方策（日本遺産魅力発信推進事業以外の事業を含む。）について、地域の現状を踏まえた取組の柱立て及び柱立ての説明を以下の視点をもって記載すること。

- ① 各取組を行う目的
- ② 各取組を行うことによって得ようとする成果
- ③ 各取組を行うことに当たっての関係機関等との連携方法

（3）自立的・継続的な取組

日本遺産魅力発信推進事業が終了しても持続的に事業を実施することが出来るようにするために行う取組について記載すること。なお、記載にあたっては、補助事業の終了を見越して、補助事業期間を含めどのような行程で実施するかがわかるようにすること。

（4）実施体制

補助事業者の名称及び構成団体を記載すること。また、補助事業者が取組を円滑に行うために必要な体制整備について記載すること。

※ 補助事業者は、申請自治体関係部局や、NPO、文化財保存団体、商工会議所、民間事業者等によって構成され、補助対象事業を実施するために必要な運営上の基盤を有する、次の4つの要件を満たす協議会等（以下「協議会」という。）とする（要件を満たしていれば、既存のものでも可）。

- ア. 定款等に類する規約を有すること。
- イ. 団体の意志を決定し、執行する組織が確立していること。
- ウ. 自ら経理し、監査する会計組織を有すること。
- エ. 活動の本拠となる事務所等を有すること。

※ 日本遺産を通じた地域活性化を行うためには、申請の段階で次の4つの取組を実施しておくことが望ましいと考えておりますので、「補助事業者が取組を円滑に行うために必要な体制整備」を記載する際には、現在の状況（考え方を含む。）がわかるように記載すること。

- ア. 地域活性化のための取組を総括して推進するプロジェクトリーダーの決定
- イ. 民間主体の取組に応じた分野別のワーキンググループの設置
- ウ. ワーキンググループを取りまとめるグループリーダーの決定
- エ. 行政の関係者及びグループリーダーが定期的に意見交換する連絡会議の設置

（５）地域活性化計画における目標と期待される効果

日本遺産という資源を活かした取組を行うことにより成果が地域にどのような波及効果をもたらすかを明らかにするため、当該波及効果の評価指標と目標値を定めること。地域活性化計画期間は６年間とし、当該期間終了後の目標値を定めて毎年度、達成状況を把握し、文化庁に報告すること。また、計画期間終了後の翌年に、全期間を通じての総括評価を行うこととする。

設定する目標及び評価指標は下の表の項目から最も近いものを選択した上で、具体的な指標を設定し、その現状値と目標値を設定すること。現状値の基点は原則として平成２９年度とするが、それによりがたい場合は、適宜の年度を基点とすること。

想定する指標が、必ずしも下の表の項目に近いとはいえない場合は、「その他」を選択し、具体的な指標を設定すること。

※ 設定目標Ⅰ及びⅡの計画評価指標は、必須のものに加えて、任意で他の計画評価指標を設定することが可能です。また、設定目標Ⅰ～Ⅲ以外の設定目標を任意で設定することが可能です。

設定目標Ⅰ： 日本遺産を活用した集客・活性化（必須）		
計画評価指標	観光客入込み数（必須）	
	宿泊者数	
	経済効果	
	広告換算効果	
	その他（具体的に記載）	
目標値： 平成２９年度 ○○（名、件、％） → 平成３５年度 ○○（名、件、％）		
設定目標Ⅱ： 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化（必須）		
計画評価指標	地域の文化に誇りを感じる住民の割合（必須）	
	日本遺産の認知度	
	日本遺産を活用した取組数（協議会による取組を除く）	
	その他（具体的に記載）	
目標値： 平成２９年度 ○○（名、件、％） → 平成３５年度 ○○（名、件、％）		
設定目標Ⅲ： 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立（必須）		
計画評価指標	日本遺産のためのふるさと納税額	
	日本遺産のための寄付額	
	日本遺産関連で開発された商品・サービス数	
	日本遺産への協力団体数	
	日本遺産への協力者数	
	その他（具体的に記載）	
目標値： 平成２９年度 ○○（名、件、％） → 平成３５年度 ○○（名、件、％）		
設定目標Ⅳ： その他		
計画評価指標：○○○○		
目標値： 平成２９年度 ○○（名、件、％） → 平成３５年度 ○○（名、件、％）		

また、日本遺産に関する取組を行うことで期待される効果（定性的効果）を併せて記載することとする。

（６）日本遺産魅力発信推進事業

上記（２）に掲げた取組を実施するために、日本遺産魅力発信推進事業（以下、「補助事業」という。）により実施を検討している事業について記載すること。その際は、補助事業の実施による成果の評価指標と目標値についても定めること。なお、補助事業実施期間は、最大３年間とするが、日本遺産に認定されても全ての事業採択を保証するものではなく、採択については毎年度審査を行う。

また、地域活性化計画期間終了後（６年後）の目標値を定めて毎年度、達成状況を把握し、文化庁に報告すること。

設定する目標及び評価指標は下の表の項目から最も近いものを選択した上で、具体的な指標を設定し、その現状値と目標値を設定すること。現状値の基点は原則として平成２９年度とするが、それによりがたい場合は、適宜の年度を基点とすること。

想定する指標が、必ずしも下の表の項目に近いとはいえない場合は、「その他」を選択し、具体的な指標を設定すること。

ただし、その場合でも、単に補助事業の実施結果に過ぎない参加者数等（参加者数や修了者数、ガイド登録者数、ツアー参加者数、普及イベント入場者数 等）や、事業規模に応じて必然的に増減するもの（パンフレット作成数、調査件数 等）は、評価指標としては認めないので、これらを評価指標として設定している場合は、計画性がないものとして扱う。

なお、補助対象事業は以下のとおり（対象となる事業の内容や範囲は今後変更となる可能性あり）。

① 情報発信事業

- ・ 総合的な情報を発信するためのホームページ、映像、パンフレット等の制作

② 人材育成事業

- ・ ボランティア・日本遺産コーディネーター等の人材育成

③ 普及啓発事業

- ・ 普及啓発するための事業（発表会、展覧会、ワークショップ、シンポジウム等）

④ 調査研究事業

- ・ 日本遺産の情報発信・普及啓発に必要な未指定文化財の資料収集
- ・ 日本遺産の情報発信・普及啓発に必要な嗜好性等のマーケティング調査

⑤ 公開活用のための整備に係る事業

- ・ 案内板・説明版の設置
- ・ 案内施設、展示施設への改修
- ・ 便益施設等の設置

事業区分：情報発信		
実施事業	日本遺産の紹介HP（多言語化を含む）の作成	
	写真・映像等の基礎資料の作成	
	紹介資料（記事・映像）の作成・放映	
	パンフレット等の作成	
	その他（具体的に記載_____）	
事業評価 指標：	ホームページ閲覧数（PV数）	
	SNS上の情報発信の「いいね」の数	
	コンテンツ制作数	
	コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）	
	補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）	
	外国人入込み数	
	宿泊者数	
	外国人宿泊者数	
	その他（具体的に記載_____）	
目標値： 平成29年度 ○○（名,件,%） → 平成35年度 ○○（名,件,%）		
事業区分：人材育成		
実施事業	ガイドの育成	
	コーディネーター等の育成	
	その他（具体的に記載_____）	
事業評価 指標：	ガイド育成講座修了者の後年度活動者数	
	ガイド利用者数	
	コーディネーター等育成講座修了者による活動件数	
	その他（具体的に記載_____）	
目標値： 平成29年度 ○○（名,件,%） → 平成35年度 ○○（名,件,%）		
事業区分：普及啓発		
実施事業	日本遺産に関するシンポジウムの実施	
	日本遺産を活用した地域学習の実施	
	日本遺産を理解するためのイベントの実施	
	日本遺産に関する商品化のためのワークショップの実施	
	日本遺産への来訪者を増やすためのモニターツアーの実施	
	その他（具体的に記載_____）	
事業評価 指標：	日本遺産の認知度	
	日本遺産に関する商品開発数	
	日本遺産に関する旅行商品数	
	その他（具体的に記載_____）	
目標値： 平成29年度 ○○（名,件,%） → 平成35年度 ○○（名,件,%）		
事業区分：調査研究		
実施事業	未指定の構成文化財調査	
	嗜好性調査	
	その他（具体的に記載_____）	
事業評価 指標：	調査対象文化財への観光客数	
	嗜好性調査を踏まえた商品開発数	
	嗜好性調査で絞り込んだ層の入込み数	
	その他（具体的に記載_____）	
目標値： 平成29年度 ○○（名,件,%） → 平成35年度 ○○（名,件,%）		

事業区分：公開活用のための整備		
実施事業		案内板・説明板の設置
		案内施設・展示施設への改修
		便益施設等の設置
		その他（具体的に記載
		）
事業評価 指標：		観光客の満足度
		施設への入込み数
		その他（具体的に記載
		）
目標値： 平成２９年度 〇〇（名, 件, %） → 平成３５年度 〇〇（名, 件, %）		

（7）その他事業

上記（2）に掲げた取組を実施するために、日本遺産魅力発信推進事業以外の財源を使って実施を検討している事業について記載すること。

Ⅱ. 平成 30 年度認定内容変更

1. 「日本遺産」認定内容変更申請書（様式 5）

（1）ストーリーのタイトル

平成 29 年度以前に認定された日本遺産のストーリー名を記載すること。

（2）変更箇所

様式 5 の記入例を参考に変更箇所及び変更理由を記載すること。

（3）変更理由

記入例に倣い、変更理由が明確に分かるよう記載すること。

（4）担当者連絡先

文化庁からの連絡の窓口となる担当者を記載すること。

2. 構成文化財予定一覧表及び構成文化財予定写真一覧（様式 6－1 及び 6－2）

「日本遺産」認定内容変更のうち、「構成文化財」の追加をする場合には、様式 6－1 の記入例を参考に今後追加を予定しているものを含め構成文化財の全体像を記載すること。

3. 変更申請に際して提出するもの

認定申請の際に文化庁に提出した（様式 1－1）～（様式 3）について、変更箇所の見え消し（朱書き）訂正版（変更が生じた箇所を見え消しで赤字修正したもの）及び反映版（変更が生じた箇所を反映させたもの）を提出すること。

なお、様式 4 については「『平成 30 年度日本遺産魅力発信推進事業』について（依頼）」において提出を求めることとするため、本依頼においては提出を求めないこととする。

Ⅲ. 書類の提出に当たっての留意事項

1. 平成 30 年度新規認定に関すること

（1）市町村教育委員会から都道府県教育委員会へ

①市町村教育委員会は、様式 1～4 に様式 7 を付して都道府県教育委員会に提出すること。

②シリアル型の場合、様式 1－1 の①で◎印を付した申請者が都道府県教育委員会へ提出すること。なお、異なる都道府県に所在する市町村によるシリアル型の場合、◎印の申請者が所在しない都道府県に所在する市町村は、当該都道府県教育委員会に対し、◎印の申請者が提出した上記書類の写しを送付すること。

（2）都道府県教育委員会から文化庁へ

都道府県教育委員会は、市町村教育委員会から提出があった様式 1～4 に様式 8 を付して文化庁に提出すること。

2. 平成 30 年度認定内容の変更に関すること

（1）市町村教育委員会から都道府県教育委員会へ

①市町村教育委員会は、様式 5、6 に様式 7 を付して都道府県教育委員会に提出すること。

②シリアル型の場合は、「1.（1）②」の提出方法と同様。

（2）都道府県教育委員会から文化庁へ

都道府県教育委員会は、市町村教育委員会から提出があった様式 5、6 に様式 8 を付して文化庁に提出すること。

Ⅳ. 書類の提出

1. 提出方法

- (1) 提出は紙媒体 1 部及び電子媒体で提出すること。
- (2) 電子媒体はEメールで提出可能。ただし、容量が大きい場合はCD-R等に焼き付けて送付すること。また、様式1-1、様式2、様式3-1、様式4、様式5、様式6-1についてはワードファイルで提出すること。

2. 提出締切

- (1) 紙媒体
平成30年2月1日（木）（消印有効）
- (2) 電子媒体
平成30年2月1日（木）（必着）

Ⅴ. ヒアリングの実施

書類だけでは認定の可否の判断が難しい申請書については、ヒアリングを実施することとする。

1. ヒアリング日程

平成30年4月（予定）

2. ヒアリング方法

申請市町村の担当者（役職等は問わない。複数名の参加可。）により数分のプレゼン後、日本遺産審査委員会委員より質問を行う予定。

※ ヒアリングに係る詳細については、3月下旬～4月上旬にかけ、ヒアリングを実施する申請者に対してのみ都道府県を通じて連絡する。

① 申請者		② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
④ ストーリーの概要 (200字程度)			
⑤ 担当者連絡先			
担当者氏名			
電 話		FAX	
E-mail			
住 所			

市町村の位置図（地図等）

構成文化財の位置図（地図等）

※構成文化財がある地域を拡大し、構成文化財の位置を示す
（様式 3－1 の番号に対応させること）

※複数ページにわたっても可

ストーリー

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※ 1)	指定等の状況 (※ 2)	ストーリーの中の位置づけ (※ 3)	文化財の所在地 (※ 4)
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

(※ 1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※ 2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、県有形、市無形等）。

(※ 3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。

(※ 4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。

構成文化財の写真一覧

※複数ページにわたっても可

（５）地域活性化計画における目標と期待される効果

設定目標Ⅰ：	日本遺産を活用した集客・活性化			
計画評価指標：	（リストから選択してください。）		（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	（具体的な指標を記載してください。）			
目標値：	平成	年度	⇒	平成 年度
設定根拠：				
設定目標Ⅱ：	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化			
計画評価指標：	（リストから選択してください。）		（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	（具体的な指標を記載してください。）			
目標値：	平成	年度	⇒	平成 年度
設定根拠：				
設定目標Ⅲ：	日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立			
計画評価指標：	（リストから選択してください。）		（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	（具体的な指標を記載してください。）			
目標値：	平成	年度	⇒	平成 年度
設定根拠：				
設定目標Ⅳ：	その他			
計画評価指標：	その他		（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	（具体的な指標を記載してください。）			
目標値：	平成	年度	⇒	平成 年度
設定根拠：				

(様式5)

「日本遺産」認定内容変更申請書

タイトル			
変更箇所	変更理由		
[申請者]			
[タイトル]			
[ストーリーの概要]			
[ストーリー]			
[構成文化財]			
担当者連絡先			
担当者氏名			
電話		FAX	
E-mail			
住所			

※ 変更がない箇所は空欄でご提出願います。

ストーリーの構成文化財予定一覧表

状況 (※1)	番号	文化財の名称 (※2)	指定等の状況 (※3)	ストーリーの中の位置づけ (※4)	文化財の所在地 (※5)

(※1) 「既」：一覧表に掲載済みのもの

「新」：新たに掲載を予定しているもの

「予」：今後、掲載を検討しているもの

(※2) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※3) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、県有形、市無形等）。

(※4) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。

(※5) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。

構成文化財予定の写真一覧

※複数ページにわたっても可

(様式 7)

平成 3 0 年 月 日

文化庁文化財部記念物課長 殿

県 市教育委員会教育長

平成 3 0 年度日本遺産の申請書類の提出について（提出）

平成 3 0 年 1 月 4 日付け 29 財記念第 107 号で依頼のありました件について、別紙のとおり提出します。

（なお、本件は申請者として挙げた全ての市町村の合意の下に提出するものであることを申し添えます。）

※括弧内の一文はシリアル型の場合のみ要記載

(様式 8)

平成 3 0 年 月 日

文化庁文化財部記念物課長 殿

県教育委員会教育長

平成 3 0 年度日本遺産の申請書類の提出について（提出）

平成 3 0 年 1 月 4 日付け 29 財記念第 107 号で依頼のありました件について、下記のとおり取りまとめましたので、よろしくお取り計らい願います。

記

1. 平成 30 年度新規認定

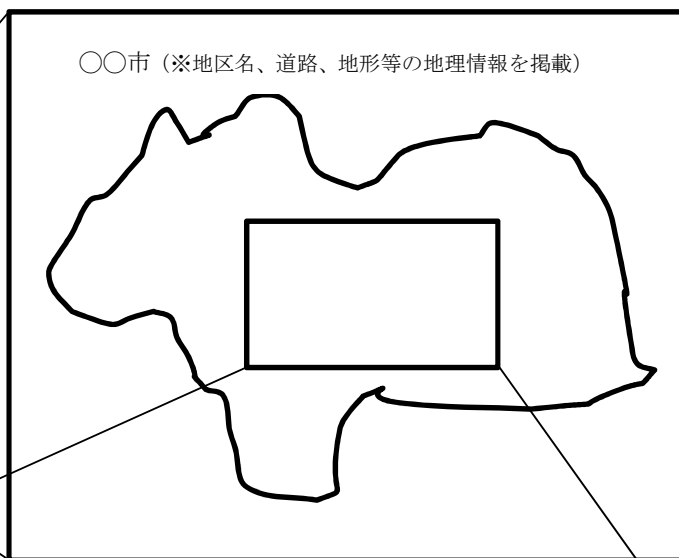
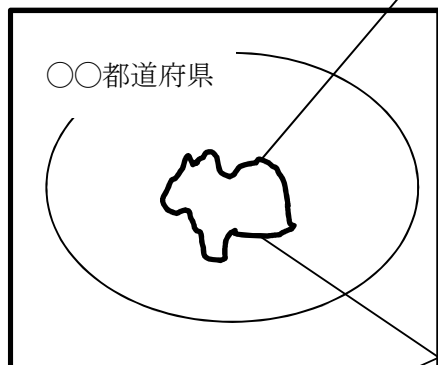
申請者	ストーリーのタイトル

2. 平成 30 年度認定内容の変更

申請者	ストーリーのタイトル

① 申請者	◎A市、B市、C市、D 町	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
【○○○○○○○○○○○○○○○○○○】			
④ ストーリーの概要（２００字程度）			
○○○○○○○○○○○○○○○○○○……			
⑤ 担当者連絡先			
担当者氏名	A市○○課××係 ○ ○ ○ ○		
電 話	(○○○○) ○○-○○○○	FAX	(○○○○) ○○-○○○○
E-mail	○○○○○○○○○○		
住 所	○○○○○○○○○○○○○○○○		

市町村の位置図（地図等）



構成文化財の位置図（地図等）

※構成文化財がある地域を拡大し、構成文化財の位置を示す
(様式 3 - 1 の番号に対応させること)

④〇〇焼

A black dot representing a cultural property, with the label '④〇〇焼' (④〇〇焼) below it.

①〇〇跡

A black dot representing a cultural property, with the label '①〇〇跡' (①〇〇跡) above it.

⑤〇〇〇 (保持者は市内各地に点在)

A black dot representing a cultural property, with the label '⑤〇〇〇 (保持者は市内各地に点在)' (⑤〇〇〇 (Maintainers are scattered throughout the city)) above it.

③〇〇祭り

A black dot representing a cultural property, with the label '③〇〇祭り' (③〇〇祭り) above it.

②〇〇伝統的建造物
群保存地区

An oval shape representing a cultural property, with the label '②〇〇伝統的建造物
群保存地区' (②〇〇 Traditional building
group preservation area) below it.

⑥〇〇神社

A black dot representing a cultural property, with the label '⑥〇〇神社' (⑥〇〇神社) below it.

※複数ページにわたっても可

[illegible]

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	〇〇跡	国史跡	□□(※ストーリーで語られる重要な人物)の住居跡。出土遺物と合わせて当時の様子が想像できる。	
②	〇〇伝統的建造物群 保存地区	国重伝建	武家屋敷と町屋の建物が現存する地区。当時の面影が色濃く残る地区であり、ここで行われる祭りや神事の舞台であり、ストーリーをイメージするためにも欠かせない空間を創出している。	
③	〇〇祭り	国無形民俗	××地域からもたらされ、その後△△地域(※ストーリーの舞台となる地域)で独自の伝播・発展を遂げた農耕儀礼。	
④	〇〇焼	県有形 (工芸品)	××地域との交流により、△△地域で独自の発展を遂げた〇〇焼の中で代表的なもの。	
⑤	〇〇〇	県無形 (工芸技術)	地域の伝統工芸である〇〇の制作に必要な高度な工芸技術。	
⑥	〇〇神社	市登録有形 (建造物)	上記3の祭りが奉納されている神社であり、地域住民にとって祭りの象徴的な存在である。	

(※1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例：国史跡、国重文(工芸品)、県史跡、県有形、市無形等)。

(※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。

(※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

構成文化財の写真一覧

①〇〇跡

写真

④〇〇焼

写真

②〇〇伝統的建造物群保存地区

写真

⑤〇〇〇

写真

③〇〇祭り

写真

⑥〇〇神社

写真

※複数ページにわたっても可

日本遺産を通じた地域活性化計画

[illegible]

(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果

設定目標Ⅰ：	日本遺産を活用した集客・活性化			
計画評価指標：	観光客入込み数	評価指標区分はリストから最も近いものを選択の上、具体的な指標欄に個別の指標を記載。最も近いと言い難い場合は「その他」を選択の上、具体的な指標欄に個別の指標を記載。		
具体的な指標：	〇〇市の観光客数			
目標値：	平成 28 年度	50,000 人	⇒ 平成 35 年度	53,300 人
設定根拠：	平成27年度～平成28年度の伸び率0.5%に対し、平成29年度は同程度の伸び率、平成30年度以降は、毎年度、対前年度比で1.0%の伸び率の達成を設定。			
設定目標Ⅱ：	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化			
計画評価指標：	地域の文化に誇りを感じる住民の割合			(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	住民意識調査の「地域の文化に愛着を感じる」の割合			
目標値：	平成 29 年度	57 %	⇒ 平成 35 年度	60 %
設定根拠：	平成29年度を基準とし、毎年度、平成29年度比で0.5%を加算した伸び率の達成を設定。			
設定目標Ⅲ：	日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立			
計画評価指標：	日本遺産のための寄付額			(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	日本遺産の活動への寄付額の上昇率			
目標値：	平成 30 年度	100 %	⇒ 平成 35 年度	250 %
設定根拠：	平成30年度を基準とし、毎年度、対前年度比20%の伸び率の達成を設定。			
設定目標Ⅳ：	日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立			
計画評価指標：	日本遺産関連で開発された商品・サービス数			同一の設定目標に対して計画評価指標を2つ以上設定する場合には、適宜記載欄を追加の上、作成してください。
具体的な指標：	地元事業者による日本遺産関連商品作成数			
目標値：	平成 32 年度	10 件	⇒ 平成 35 年度	16 件
設定根拠：	補助金がある平成32年度までに10件の商品開発を行い、その後、毎年度、2件の増加数の達成を設定。			
設定目標Ⅴ：	その他			
計画評価指標：	その他			(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標：	(具体的な指標を記入してください。)			
目標値：	平成	年度	⇒ 平成	年度
設定根拠：				

記入例

「（６）日本遺産魅力発信推進事業」は３年間でやりたい事業を全て記載してください。

様式４（別紙②）

（６）日本遺産魅力発信推進事業

事業①：（事業名を記載してください。）			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 年度
補助金額：	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円	平成32年度： 0千円
（積算）	(〇〇人×〇〇円＝〇〇千円)	(〇〇人×〇〇円＝〇〇千円)	(〇〇人×〇〇円＝〇〇千円)
事業概要：	「事業概要」は三行程度で記載してください。		
評価指標区分：	コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）		（具 評価指標はリストから最も近いものを選択の上、具体的な指標を記載してください。）
具体的な指標：	YouTubeにおける再生回数		
目標値：	平成 29 年度	1,000 回	⇒ 平成 34 年度 10,000 回
事業②：（事業名を記載してください。）			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 年度 ～ 平成 年度
補助金額：	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円	平成32年度： 0千円
（積算）			
事業概要：			
評価指標区分：	（リストから選択してください。）		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	（具体的な指標を記載してください。）		
目標値：	平成 年度	⇒	平成 年度
事業③：（事業名を記載してください。）			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 年度 ～ 平成 年度
補助金額：	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円	平成32年度： 0千円
（積算）			
事業概要：			
評価指標区分：	（リストから選択してください。）		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	（具体的な指標を記載してください。）		
目標値：	平成 年度	⇒	平成 年度
事業④：（事業名を記載してください。）			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 年度 ～ 平成 年度
補助金額：	平成30年度： 0千円	平成31年度： 0千円	平成32年度： 0千円
（積算）			
事業概要：			
評価指標区分：	（リストから選択してください。）		（具体的な指標は次のとおり）
具体的な指標：	（具体的な指標を記載してください。）		
目標値：	平成 年度	⇒	平成 年度

記入例

認定後6年間で実施予定の「日本遺産魅力発信推進事業」以外の補助事業、自主事業等を全て記載してください。

様式4（別紙③）

（7）その他事業

事業①：	（事業名を記載してください。）			補助金等の交付申請先を選択記載してください。単費で行う事業は「自主事業」を選択してください。		
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業	補助金等の交付申請先を記載してください。単費で行う事業は、事業実施主体を記載してください。		
事業概要：	「事業概要」は一行程度で記載してください。					
事業②：	（事業名を記載してください。）					
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業期間：	平成	年度 ～ 平成	年度
事業概要：						
事業③：	（事業名を記載してください。）					
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業期間：	平成	年度 ～ 平成	年度
事業概要：						
事業④：	（事業名を記載してください。）					
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業期間：	平成	年度 ～ 平成	年度
事業概要：						
事業⑤：	（事業名を記載してください。）					
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業期間：	平成	年度 ～ 平成	年度
事業概要：						
事業⑥：	（事業名を記載してください。）					
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業期間：	平成	年度 ～ 平成	年度
事業概要：						
事業⑦：	（事業名を記載してください。）					
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業期間：	平成	年度 ～ 平成	年度
事業概要：						
事業⑧：	（事業名を記載してください。）					
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業期間：	平成	年度 ～ 平成	年度
事業概要：						
事業⑨：	（事業名を記載してください。）					
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業期間：	平成	年度 ～ 平成	年度
事業概要：						
事業⑩：	（事業名を記載してください。）					
機関・団体：	（リストから選択してください。）	： （具体的な機関）	事業期間：	平成	年度 ～ 平成	年度
事業概要：						

「日本遺産」認定内容変更申請書

タイトル	〇〇〇・・・・		
変更箇所	変更理由		
[申請者] ・申請者に〇〇市を追加する。なお、追加に伴い代表自治体は〇〇市とする。	構成文化財に〇〇を追加するため		
[タイトル] ・「〇〇〇・・・・」に変更する。	・・・のため		
[ストーリーの概要] ・〇行目に「〇〇〇・・・・」を追記する。	・・・のため		
[ストーリー] ・2頁の〇行目に「〇〇〇・・・・」を追記する。	・・・のため		
[構成文化財] ・「〇〇〇」及び「〇〇〇」を追加する。	所有者の同意がとれたため		
担当者連絡先			
担当者氏名			
電話		FAX	
E-mail			
住所			

※ 変更がない箇所は空欄でご提出願います。

ストーリーの構成文化財予定一覧表

状況 (※1)	番号	文化財の名称 (※2)	指定等の状況 (※3)	ストーリーの中の位置づけ (※4)	文化財の所在地 (※5)
既	①	〇〇跡	国史跡	□□(※ストーリーで語られる重要な人物)の住居跡。出土遺物と合わせて当時の様子が想像できる。	
既	②	〇〇伝統的建造物 群 保存地区	国重伝建	武家屋敷と町屋の建物が現存する地区。当時の面影が色濃く残る地区であり、ここで行われる祭りや神事の舞台であり、ストーリーをイメージするためにも欠かせない空間を創出している。	
既	③	〇〇祭り	国無形民俗	××地域からもたらされ、その後△△地域(※ストーリーの舞台となる地域)で独自の伝播・発展を遂げた農耕儀礼。	
新	④	〇〇焼	県有形 (工芸品)	××地域との交流により、△△地域で独自の発展を遂げた〇〇焼の中で代表的なもの。	
予	⑤	〇〇〇	県無形 (工芸技術)	地域の伝統工芸である〇〇の制作に必要な高度な工芸技術。	
予	⑥	〇〇神社	市登録有形 (建造物)	上記3の祭りが奉納されている神社であり、地域住民にとって祭りの象徴的な存在である。	

(※1) 「既」：一覧表に掲載済みのもの

「新」：新たに掲載を予定しているもの

「予」：今後、掲載を検討しているもの

(※2) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※3) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、県有形、市無形等）。

(※4) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。

(※5) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。

構成文化財予定の写真一覧

①〇〇跡

写真

④〇〇焼

写真

②〇〇伝統的建造物群保存地区

写真

⑤〇〇〇

写真

③〇〇祭り

写真

⑥〇〇神社

写真

※複数ページにわたっても可